

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-1
事業名	やまがた木育推進事業		
事業費	2,815 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

### 1 目的

県民の豊かな緑を育む意識の醸成のためには、直接的な保全活動への支援と併せて、県民の森林等に対する理解の向上が不可欠である。このため、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と定め、森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目指す。

### 2 事業概要

- (1) やまがた木育推進委員会の開催  
学識経験者や森林環境教育実践者などから必要なアドバイスや意見をもらう。
- (2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進  
やまがた木育推進委員会や教育関係者の意見を参考に年齢に応じた教材の提供及び実践。
  - ① 未就学児向け
    - ・「木育絵本」の配布
  - ② 小学校低学年向け
    - ・「木育ブック」の配布・実践
    - ・「木育クラフト」の配布・実践
  - ③ 小学校高学年向け
    - ・副教材「やまがたの森林」、指導者用ガイドブックの作成・提供
    - ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」
- (3) 県民みんなでやまがた木育の推進  
やまがた木育の指導者を養成するやまがた木育人材養成講座【スタートアップ】を2回開催する。

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- (1) やまがた木育推進委員会の開催 (10/17)
- (2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進
  - ① 未就学児向け
    - ・「木育絵本もりはすごいなあ」を300部作成し、3月に配布。  
(配布先：県立及び各市町村立図書館等)
  - ② 小学校低学年向け
    - ・「やまがた木育ブック」を990部作成し、実践。
    - ・「木製スプーンづくりキット」の640個作成し、実践。  
(放課後児童クラブ、飯豊少年自然の家、青年林業士等スキルアップ研修等で活用。)
  - ③ 小学校高学年向け
    - ・副教材「やまがたの森林」を10,080部、指導者用ガイドブックを1,030部作成し、11月に配布。(配布先：県内全ての小学5年生、指導者用ガイドブックは県内全小学校指導者)
    - ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」を4,670部作成し、9月に配布。  
(配布先：県内小学校、森づくり活動団体等)
- (3) 県民みんなでやまがた木育の推進  
やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】の開催 (7/28、8/4)

#### 【課題】

県民の豊かな緑を育む意識の醸成のため、やまがた木育の推進が必要である。副教材について、教育関係者の意見を参考により使いやすい内容に修正していく必要がある。

## やまがた緑環境税を活用した取組み 【令和元年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

### やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】の開催

令和元年7月28日(日) 県立農林大学校 緑風館(新庄市角沢)

8月4日(日) 源流の森(飯豊町須郷)



木製スプーンづくり



葉っぱを使ったプログラム

### やまがた木育の実践とその指導

○飯豊少年自然の家「ボランティアセミナー」 (実践の指導)

令和元年5月11日(土) 飯豊少年自然の家



森のたんけん手帳の解説  
(森のスケッチ)



森のたんけん手帳の解説  
(森の色さがし)

○放課後児童クラブでの実践

令和元年8月7日(水) 学童保育レインボー、レインボーなないろ



やまがた木育ブックの活用



木製スプーンづくり

## やまがた緑環境税を活用した取組み

### 【令和元年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

#### やまがた木育推進委員会の開催

○令和元年10月17日（木） 県庁1001会議室



やまがた木育推進委員会  
の様子



委員長 今村哲史 委員

#### 教材の提供

○木育絵本もりはすごいなあ（未就学児向け）



○やまがた木育ブック、木製スプーンづくりキット（小学校低学年向け）



○副教材・ガイドブック、森のたんけん手帳（小学校高学年向け）

